

環境調査結果のお知らせ

平成21年6月9日
中央漁業指導所・水産試験場

平成21年6月9日野見湾のプランクトン検査の依頼がありましたので、結果をお知らせします。

採水場所 大室戸の漁場
採水水深 2m・5m・10m (ペットボトルによる簡易採水)

環境調査結果表 (プランクトン)

単位 cells/ml

調査地点・水深		コクロディニウム・ポリクリコイデス	ケラチウム・フルカ	メソディニウム・ルブラム
大室戸	0 m			
	2 m	0	20	74
生海水 直接観察法	5 m	0	15	14
	10 m	0	11	18
大室戸 50倍濃縮の 海水を検鏡	0 m			
	2 m	17 (生海水換算0.34)		
	5 m	46 (" 0.92)		
	10 m	31 (" 0.62)		

プランクトン

コクロディニウム・ポリクリコイデスが出現しています。生海水の検鏡ではプランクトンを確認できませんでしたが、海水を50倍に濃縮して検鏡すると、生海水換算で 0.34~0.92 cells/mlの細胞を確認することができました。6月4日の環境調査では、湾内の3定点(湾奥ブイ、馬の背、ガラク)で本種が出現していますので、今回の結果から本種が湾内全域に拡がっていることが分かりました。

本種は、表層より2~5m層で増殖する傾向があり、発生状況が分かりにくいことと赤潮状態より低密度の400cells/ml以上で養殖魚に被害が出る場合がありますので注意が必要です。

その他の有害種では、ケラチウム・フルカが最高20cells/ml出現していますが、特に心配するような密度ではありません。

メソディニウム・ルブラムは赤潮になることもありますが、魚類には基本的に無害です。

今回出現した有害種にしても出現数は少なく、漁業被害が直ちに心配されるような状態ではありませんが、養殖魚の様子とプランクトンの動向には注意するようにしてください。なお、海面の泡立ちや着色、養殖魚の異常を感じたときなどは、今回の例のように良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所までご連絡ください。